

FAXC/SPOOL をより安心してお使いいただくためのお知らせ

情報通信ネットワーク産業協会(略称: CIAJ)から「ファクシミリ(FAX)をより安心してお使いいただくためのお知らせ」が公開されております。このお知らせには、通信トラブルに関する事例と未然に防ぐためのご案内が掲載されておりますので、FAXC/SPOOL をお使いいただいているお客様にも、本ホームページにてご案内いたします。

1. 「ファクシミリ(FAX)をより安心してお使いいただくためのお知らせ」の詳細について

下記をご参照願います。

CIAJ 公式ホームページ

(<http://www.ciaj.or.jp/content/topics/040927.html>)

2. 発信音(ツープ音)を確認してから FAX 番号をダイヤルする方法のご案内

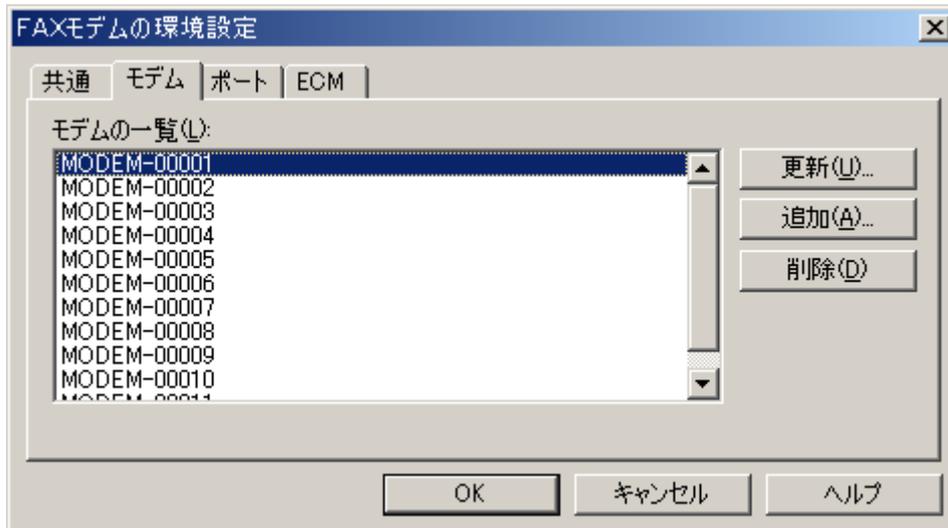
NTT公衆回線へFAXモデムを直結する場合は、ダイヤルする前に、発信音(ツープ音)を確認する事ができます。PBX(交換機)経由の場合は、FAXモデムのハードウェアメーカーにお問合せください。

ダイヤルする前に、発信音(ツープ音)を確認してから FAX 番号をダイヤルするためのモデム側の設定手順は、次の通りです。

(1) FAXライターが停止している状態で、「FAX コネクション」グループにある「FAXC-SPOOL 環境設定」を起動します。



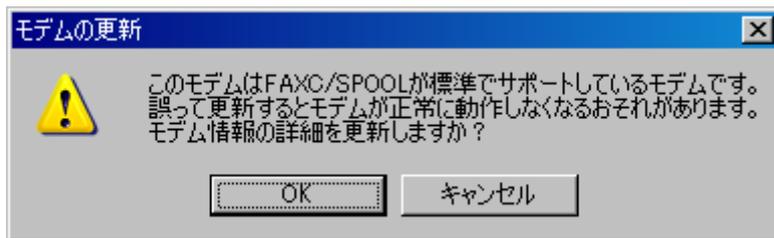
(2)「FAXC/SPOOL 環境の設定」にある「FAX モデム」アイコンをダブルクリックし、「モデム」タブをクリックします。



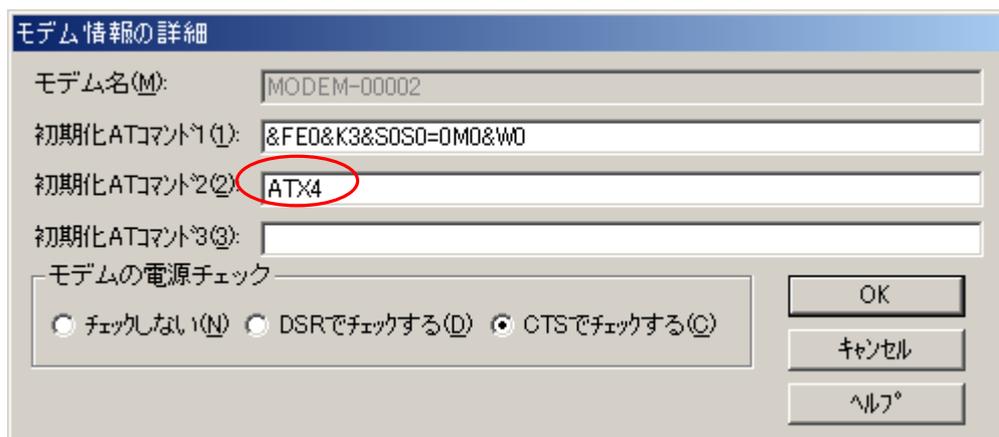
(3) モデム一覧から、お使いのモデムを選択して「更新」ボタンをクリックします。

本例では、MODEM-00002 を選択した例を紹介します。

この時、下記のような警告メッセージボックスが表示されますが、「OK」ボタンをクリックして処理を続行してください。



(4) モデム情報の詳細ダイアログで初期化 AT コマンド 2(2)の欄に「ATX4」を設定し、「OK」ボタンをクリックします。

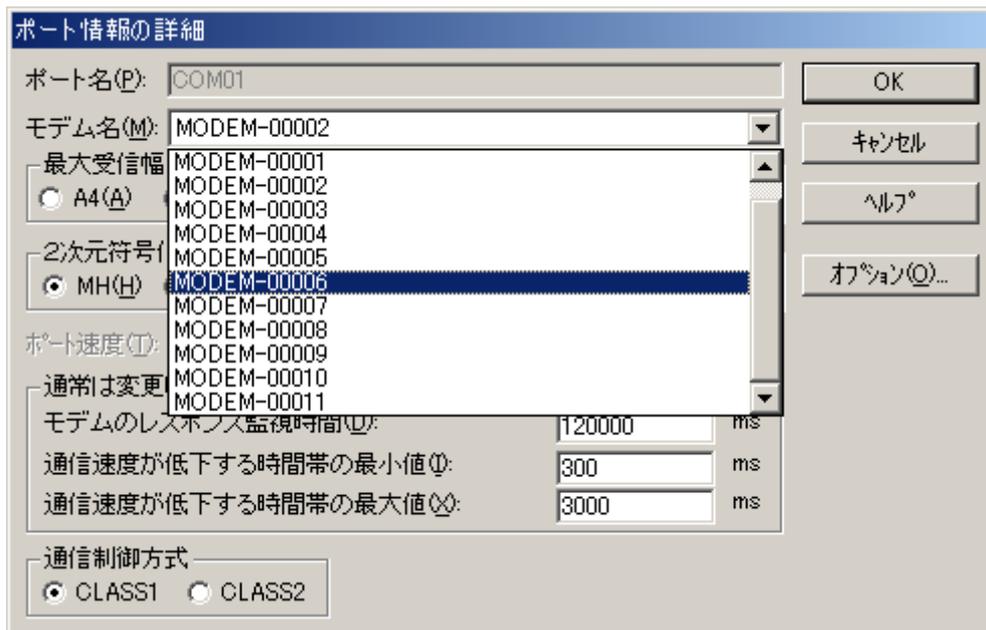


(5) FAX モデムの環境設定ダイアログに戻って、今度は「ポート」のタブをクリックします。

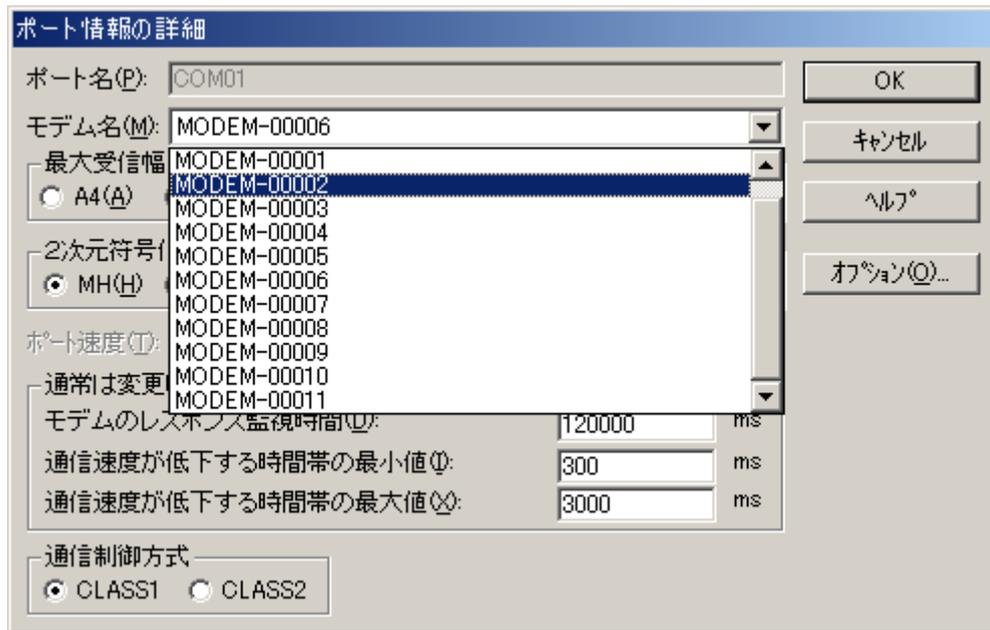
ポート一覧より変更するポートを選択して「更新」ボタンをクリックします。



(6) モデム名のリストボックスから、一時的に別のモデム名を選択します。



(7)再度、現在お使用中のモデムを選択し、「OK」ボタンをクリックします。



複数回線を使っている場合は、回線数分だけ(5)から繰り返します。

すべてのモデムの設定が終わったら、FAXモデムの環境設定ダイアログの「OK」ボタンをクリックして、FAXモデムの環境設定を終了します。

(8)本設定後、FAXライターを起動してください。

なお、ダイヤルする前に発信音(ツープ音)を確認できない場合は、『ダイヤルトーンが検出できません。』となります。

3. 対象製品

対象製品は、次の通りです。

形名	製品名	バージョン
P-2421-2314	FAXC/SPPOOL	全バージョン
P-2421-2324	FAXC/SPPOOL Version2	全バージョン
P-2421-2334	FAXC/SPPOOL Version 3.0	全バージョン
P-2421-2534	FAXC/SPPOOL for R/3(R)	全バージョン
P-2421-2914	FAXC カンジ サーバ	全バージョン
P-2421-2344	FAXC/SPPOOL Version 4.0	全バージョン
P-2421-2544	FAXC/SPPOOL for R/3(R)	全バージョン

以上